

「救急活動時の救急救命処置による事故調査・検証報告書」について

令和3年10月3日に発生した救急活動中における薬剤（アドレナリン）の誤投与について、事故の原因究明及び再発防止策が取りまとめられましたので公表します。

1 事故概要

令和3年10月3日（日）22時08分覚知の救急活動において、アナフィラキシー症状を呈する傷病者に対し薬剤（アドレナリン）を静脈内投与したことにより、傷病者に不整脈が起き、一時的に心臓機能が停止した。

2 検討目的

事故原因の調査・検証と再発防止策の提言を行うことを目的に、第三者委員会として「救急活動時の救急救命処置による事故調査対策専門部会」を設置し、全3回の検討を行った。

3 報告書の概要

(1) 事故の発生原因（報告書 P11）

- ・救急活動における救急隊長のリーダーシップの欠如
- ・救急救命士の行うアドレナリン投与に関する知識の不足
- ・救急隊に対する指示、指導及び助言を行う医師の役割の理解不足
- ・コミュニケーションエラー（特に言語コミュニケーションの省略化）

(2) 対策の立案と提言（報告書 P13）

- ・アナフィラキシー（疑い）傷病者への対応手順の変更
- ・救急救命士が行う静脈路確保、輸液やアドレナリン投与処置などについての知識及び手順の再確認
- ・救急隊に対する医師の指揮監督関係の明確化
- ・救急隊長に対する研修の実施
- ・指令センター常駐医師の資格要件の見直し及び救急車同乗実習を含めた研修の実施
- ・医師及び救急隊のコミュニケーション精度向上 など

4 事故発生以降に実施した再発防止策

早急に対応すべき再発防止策として、救急隊員に対し、「救急隊現場活動マニュアル」の再確認及び訓練、医事法学の専門家による事故の再発防止を目的とした研修並びに指導的立場の救急救命士が救急車に同乗する実践研修を実施した。

また、指令センター常駐医師に対し、勤務時に事故概要及び救急活動プロトコールの注意点について動画等を用いた個別説明を実施している。

5 報告書

別添のとおり